

# かわにし



## 雪まつり新時代へ

特集 雪まつり新時代へ…2

入学おめでとう…10

今年はこれをやります 施政方針…16

### 人口の動き

—4月1日現在—

男	3,958 (-16)
女	4,034 (-13)
計	7,992 (-29)
世帯数	2,270 (-3)

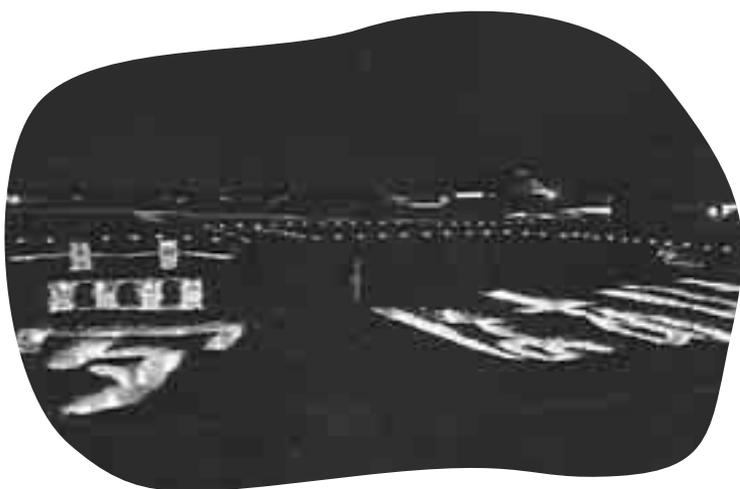
( ) は前月比較

特集

# 雪まつり 新時代へ

3月6日、7日に開催された第18回川西雪まつりは、これまでの雪まつりとは異なる点がいくつかありました。前夜祭を各地区で開催したことや、大地の芸術祭以来交流が続いているこへび隊の皆さんと地元ボランティアの人たちが連携して企画・運営した新しいイベントが展開されたことなどです。

こうした新しい動きを、参加した人たちの感想を中心に  
お伝えします。



夢はありますか」の文字が雪原  
いっぱい浮かび上がりました

## 地域のまつりは地域で

今年の雪まつりの特徴は、前夜祭を千手、上野、橘、仙田の四地区それぞれの企画と運営で開催したこと、大地の芸術祭からつながりのある「こへび隊」のみなさんと川西町の住民の協働による新しい催しが展開されたことです。

こうした新しい取り組みは、住民ボランティアによる企画に基づくもので、「地域のまつりは地域でつくりよう」という気運

そのままに実施されました。これらの催しについて、参加した皆さんの声を中心に検証してみます。

## 「夢」の文字は暖かく

三月六日の前夜祭では、各地区で趣向を凝らした「ほんやら村」が展開されました。

千手地区では、「春一番でキヤンドル・メッセージ発信」と題して、炎で文字を描く催しを実施しました。そして、会場の川西中学校寄宿舎付近の雪原に

江口優美さん(21・朝日町)提案の「夢はありますか」という七つの文字がほのかに、そして暖かく浮かび上がりました。

千手ほんやら村実行委員会副会長としてこの催しに参加した北村良二さん(49・中央町)は、「キヤンドルの明かりで、雪の中で実際に文字が浮き上がるか、また、風でキヤンドルが消えないか心配しましたが、たび重なる実験により、大成功でした。住民の皆様のご協力のたまものです」と、地域で協力しあった結果に満足そうでした。

## こへび隊のみなさんの感想

今回の雪まつりに、ボランティアとして積極的に企画から運営に関わり、地域住民との交流も深めたこへび隊ほかのみなさんの感想が届いていますので、ご紹介します。

(敬称略。学年は三月現在)

### 中原 康明



雪まつりに参加して本当に楽しかったです。今までにない雪の量

に遭遇して興奮してはしゃぎまわってしまいました。また、地域の人たちが一体となって、しかも、みんながみんな大衆の中の一員としてではなく、個々にスポットライトを浴びて活躍していて、東京においてはなかなか味わえない貴重な体験をさせていただけで、とてもよかったです。思います。

よそから来た者なのにぼくたちにごく親しく接してくれてすごく嬉しかったです。

皆さんの様子を見てみると、自分のふるさとまだまだ捨てたものじゃないという気になりました。

また必ず川西町に戻って行きたいと思っています。今回は本当にありがとうございました。

(東京理科大学理工学部建築学科一年/千葉県出身)

### 鈴木 理恵



かわにし雪まつりに参加しての感想、それは、ホワイトプロジェクト

クトが完結したこと!!そのひと言に尽きます。昨年夏に平和への願いを込めて寄せられた皆さんの思いが、GOTAKEの踊りに囲まれ見守られる中、一枚一枚昇天されたことが何よりうれしいです。

今回は特にホワイトプロジェクトとpeace roadで私たち(こへび隊とその友だち)も関わらせていただき、さらに川西の方たちを知ることができ、お互いの心のキヨリが近くなった気がしています。日々の生活をやりくりしつつ、祭りの準備に励む皆さんの姿は印象的で本当にカッコイイと思いました。そして、そういう環境で育つ子どもには絶対良い影響を与えると確信しました。

### 私事

ですが、私はこの春に大学を



piece to peace の前で

## 大きな家族になった

また、上野地区では、上野小  
学校グラウンドを会場に「雪の  
宴！うえの」が開催されました。

これは、上野地区の七つの集  
落・地区がそれぞれほんやら洞  
を運営しながら、集落対抗の雪  
上レクリエーションや、屋台村、  
炎の演出などで楽しんだもの  
で、約四〇〇人が参加しました。

地区全体のとりまとめから裏  
方仕事までをこなした実行委員  
長の上村功一さん（54・上野）  
は、「各集落の総代さんにとま  
め役としていろいろ骨を折って  
もらいました。資金が少ないの  
で、あっちこっちまわってお金  
集めもしましたが、小学校のグ  
ラウンドで『老いも若きも一緒  
に楽しむこと』をめざしてみん  
なで準備しました。結果として、  
上野地区は大きな家族のようにな  
ったと思います」と、苦労があ  
った分感動も大きかったよう  
です。

## 早くまとまった 茶屋街道

橘地区では、六つの集落・地  
区が運営するほんやら村を結ん  
で、「雪のふるさと茶屋街道」  
としてまとまりました。

野口、仁田、木落、三箇、大  
白倉、小白倉の各集落・地区で  
は、それぞれ雪像や屋台を中心  
に地域の人が集い、親交を深め  
ました。

集落の雪像作りやキャンドル  
サービスに関わった田口陽介さ  
ん（23・木落）は、「小雪だっ  
たので開催できるか心配でした  
が、地区の人たちと関わり、交  
流が深まって良かったです」と  
感想を語ってくれました。

また、三箇ほんやら村で五目  
おこわ、おにぎり、織ひめ汁な  
ど地域の料理を提供した田中洋  
子さん（66・下原）は、「寒い  
時期なのであたたかい物を食べ  
てもらうため時間をみて作業し  
ました。みんなが楽しみました。  
橘地区は集落ごとでやったの  
で、まとまりが早く良かったと  
思います」と、地域ぐるみでの  
催しのメリットを語ります。

## 地区総出の参加も

仙田地区では、「雪まつり前  
夜祭仙田」と銘打って、仙田体



三箇「北の茶屋」にはおいしい  
ものがいっぱい



この日は「いっつおけ雪わいさ」  
をして楽しみました（上野）

卒業し仙台で社会人生活を始め  
ます。社会人になる前の大切な  
時間の多くを妻有の地で過ごせ  
て本当に良かったです。これか  
らも、皆さんと新たに訪れるこ  
へび、そして合併後仲間になる  
地域の方々との交流がますます  
活発になり、妻有の地が元気に  
なっていったらいいなと心から  
願います。

様々な面で面倒を見ていただ  
き、教えていただき、生の川西  
を見せていただき、大変ありが  
とうございました。また遊びに  
帰る場所ができてうれしいう  
す。いつか私も旦那さんと子ど  
もを連れて行こうと。

（筑波大学第二学群比較文化学  
類四年／山形県米沢市出身）

### 西川 聖名



今回、こへ  
び隊として雪  
まつりに参加  
させていただ  
いて、ありが  
とうございました。よい体験が  
できました。また外部のものを  
暖かく迎えてくださってありが  
とうございました。

雪祭の新しい試みである地区  
ごとの前夜祭やプレイランド、  
dog to dogのお手伝いをす  
ることができてよかったです。

最初は雪祭のお手伝いと聞い  
て、雪像作りでもやるのかなと  
思っていたのですが、実際に来  
見たらほとんどが室内の作業だ

だったので正直ちょっぴりがっか  
りしました。が、自分達が作っ  
たキャンドルやプレイランドの  
看板や魚釣りゲームなどが実際  
使われているのを見たり喜んでく  
れている子供がいたりして、あ  
あ、やってよかったなあと思  
いました。

新潟に来たのは今回が初めて  
でしたが、こんなに雪が降って  
るところにきたことがなかった  
ので最初見たとき感動しまし  
た。地元の人達は東京ではあま  
り見られない地域に対する愛情  
や誇りのようなものを感じまし  
た。雪まつりに参加させていた  
だいたおかげで六日間充実した  
暖かい日々をおくることができ  
ました。機会があったらまた来  
たいとおもいます。

（女子美術大学芸術学部工芸学科  
染専攻二年／東京都日野市出身）

### 五十嵐沙樹



地域のつな  
がりを大切に  
し、その土地  
ならではの行  
事や伝統を大  
切にしている。今の時代だから  
こそ、なくてはならない、伝  
えていってほしいものがある。  
川西の雪まつりはそれがあると  
思いました。だれもが楽しめる  
お祭りだったと思います。そし  
て、子供達のことを考えている  
人たちがたくさんいらっしゃる  
事にも感動しました。

特集

## 雪まつり 新時代へ



雪遊び広場は二日間とも子どもたちでにぎわいました(仙田)



基本は「地域が楽しむこと」(上野)

駿交流館前広場で雪像や洞内屋台、スノーキャンドルなどに地区住民が集いました。

地区振興会の幹事としてほんやらの運営を担った高橋幸一さん(58・赤谷)は、「時間のない中でしたが、仙田地区をあげるため、『ほんやら村』を作り上げるため、全地区の区長さんで協議しながら企画しました。シヤトルバスを利用して、地区総出で参加してくれたところもあって盛り上がりました」と、こちらも大きな成果があったようです。

### 来年に向けて

総じて、手探りの状態から始めた各地区のほんやら村でしたが、結果としてはそれぞれが確かな手応えを感じていたようです。

そして、次回へ向けての展望も、「今回の催しで住民の方々の協力も得られ、来年に向けての方向付けはある程度できあがったと思います。来年再度行うのであれば、もう少し楽にできるかも」(北村良二さん)、「このようなイベントは、冬の長い間に地区独自で計画してもいいと思った」(上村功一さん)、「中央でやっても、行ける人が少ないので、次回も地区ごとに

してもらいたいですね」(田中洋子さん)、「今年は時間がなくてできませんでしたが、今度は、最初から住民を巻き込んで企画運営をしたい」(高橋幸一さん)と、それぞれ前向きです。手作りの催しは、手間をかけた分だけ成果も上がりますが、各地区ともほんやらの運営を積み上げていく予定です。

### 過去最高の人出

さて、翌七日は本まつりです。総合体育館脇を会場に、恒例の屋台村、仮装十人十一脚レース、ダンス甲子園、雪像コンテスト、大抽選会などが行われ、本まつりとしては過去最高の二、八〇〇人の人出で賑わいました。

その一翼を担ったのが、今回新たに企画された「みんなで作ろう piece to peace」と「ハワイプロジェクト昇天祭/天神ばやし」かわにし Gotaku!!」です。いずれも、昨年夏に開催された大地の芸術祭との関わりの中で生まれた企画で、芸術祭の運営スタッフとして地域に関わった「こへび隊」のみなさんと住民スタッフの連携が実施を支えました。

川西はとても寒かったけれど、町の方々には皆さん温かい人達ばかりでした。子ども達もとても可愛かったです。また川西町の皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。

(女子美術大学芸術学部工芸学科 染専攻二年/群馬県榛名町出身)

### 浜中 和恵



川西町に着いて一面の雪を見て最初に感じた事は(雪国だなあ)

という事でした。持ってくる物以外はほとんど何も聞かされていない状態だったので、一体これから何が始まるのだろうかという思いでした。最初の1、2日は先がよく見え、自分が一体何をやっているのか分からず作業していました。今作っている物がこれからどうなっていくのだろう。でも日にちが経つにつれ、全体の形が見え始めると同時にその思いはこれから何か起きそうなワクワク感に変わりました。

前夜祭は本番と思うくらい楽しい夜でした。雪の中でふんわりと光る口ウソクの火や賑わう屋台など町全体が協力しているような感じがありました。そしていよいよ本まつりの日がやってきました。仮装十人十一脚の仮装が思っていたよりもすごいもので驚きました。私達は半袖に

ビニールを被った状態で走りまわりました。凍えるほど寒かったけど、きつとこの先吹雪の中半袖で走ることはないだろうと思うと良い思い出です。プレイランドの方は子ども達で賑わっていて中でも雪の滑り台は大成功だと私は思いました。屋台の方も力が入っていて、最後に抽選会をやったりとお客さんが最後まで楽しんでいたら私は思いました。川西町での一週間は充実していて、色々なものが凝縮されています。

最後に、私の一番思い出に残っていて楽しかった事は、飲み会です。川西町の人達が気さくに声をかけてくれて、冗談を言ったりした中にこの町の温かさのようなものを感じたからです。(女子美術大学工芸科織りコース二年/埼玉県北庄和町出身)

### 岩崎美和子



去年の夏に行われた大地の芸術祭から新潟に足を運ぶようになった。

今回の雪まつりに参加させて頂いて、改めて新潟が雪国なんだということを実感し、そして川西の人たちの温かさや団結力といった川西パワーに圧倒さ

優秀賞



「さるかに合戦」 木落三嶋会

最優秀賞



「夢とロマン」 小白倉白進会

「ファンタスティックゾーン」  
高原田町内会

ライトアップ  
演出賞



「祝 J1 昇格不景気回復はアルビから」 兼成会

も気さく  
な方で、  
世代を越  
えて仲良  
くできる  
というの  
はうらや  
ましいこ  
とでした。



最後にみんなで歌った校歌は最高

す。皆が同じ歌を歌えるという  
のは素敵なことだと思いまし  
た。本祭では、「ごったく」を踊  
れたことが、とてもいい思い出  
になりました。練習の中で色ん  
な方にお世話になりました。皆  
さんとて

大沢のり子



雪まつりで  
一番に残っ  
たのは、前夜  
祭（上野）で  
の校歌合唱で

れ、感心し感動しました。  
来年の雪まつりがどう成長し  
ていくのか、とても興味があり、  
また参加できたらイイなと思っ  
ました。  
横浜では雪も最近は降らず冬  
でもあまり寒くないので、横浜  
に戻ってから雪が降らないかと  
外に出ては空ばかりを見ては、  
川西を懐かしむ毎日です。  
最後に、道で転んでも痛くな  
いということにも感動しました。  
（雪につまづきよく転んだので）  
（女子美術大学芸術学部工芸学  
科二年／横浜出身）

ないかと思ひます。  
こういったお祭りは、町の人  
達自身が楽しめなければ意味が  
ないと思ひます。それでいて、

それは前夜祭でも言えたと思ひ  
ます。全体的に、アットホーム  
で、町の人々が参加して作り上げ  
た手作りの良さと、楽しくいい  
雪まつりにしようとする意気込  
みが非常に強く感じられました  
た。そういった力強さがよい雪  
まつりになった一番の理由では  
ないかと思ひます。

上野小学校での前夜祭は最後  
のキャンデルがすごく綺麗で感  
動的で、印象に残っています。  
雪まつり本番は、ダンスや十人  
十一脚、抽選など、町の人々が自  
ら参加して楽しめて、訪れた人  
も最後まであきらめないプログ  
ラムになっていたと思います。

関東に戻ってくると、一面真  
っ白の世界がとても懐かしと思  
えます。六日間お世話になりま  
した。ありがとうございました。  
（筑波大学第二学群比較文化学  
類四年／東京都稲城市出身）

増田 彩之



私は、夏の  
大地の芸術祭  
には参加して  
いなかったの  
で、今回雪ま  
つりに参加して初めて川西町に  
伺いました。雪国は初めてだっ  
たので、大変なこともありまし  
たが、町のみなさんにとっても親  
切にさせていただきました。

# 仮装 10人11脚レース



タイムレース(大人の部) 第1位の  
川西中学校野球部二年生チーム



タイムレース(子供の部) 第1位の  
GOGOレモン



タイムレース、仮装部門とも2位の  
ハルウララ



仮装部門金賞の  
パイルダーオン!!中仙田百円会マジンゴー

大滝 礼華  
 最初は川西町の雪まつりとはどんなものなのかわからず不安もありましたが、こへびの仲間たちと地域の方々との作業はとても楽しく、やりがいのあるものでした。吹雪の中での作業はとても大変でしたが…。本番では屋台の手伝いやイベント、ゲームに参加するなどさせていただきました。お祭りに行くことは今までもありましたが、今回は初めてスタッフとして関わらせていただきますとは違う視線で「お祭り」を体感できました



最初は川西町の雪まつりとはどんなものなのかわからず不安もありましたが、こへびの仲間たちと地域の方々との作業はとても楽しく、やりがいのあるものでした。吹雪の中での作業はとても大変でしたが…。本番では屋台の手伝いやイベント、ゲームに参加するなどさせていただきました。お祭りに行くことは今までもありましたが、今回は初めてスタッフとして関わらせていただきますとは違う視線で「お祭り」を体感できました

ただの自己満足ではなく来たる人にも楽しんでもらえる。今回の雪まつりはこの難しい二点を、工夫によってうまく成し遂げていたと思います。最後に、本当に大変でしたが、川西町の雪まつりを手伝い、参加することができてとてもよい経験をする事ができたと思います。  
 (女子美術大学工芸科染専攻三年/横浜市出身)



みんなで「ひとつの心」の火をともしました(上野)

平山 睦美  
 私達は三月三日に川西町に着き、それから「PEARL ACE」のパネル製作のお手伝いや、パネルの設置、会場の準備などをさせていただきました。前夜祭の日は、午前中パネル設置をしていたところは吹雪いて作業がなかなか大変だったりしましたが、いざ前夜祭が始まってみると、天候も良くなり、祭りの最後に、灯したろうそくも暖かな光りを灯し、とても感動的でした。本まつりでの仮装十人十一脚では大人も子供も一所懸命になってマジンガーZになったり、春うららになったり…。私達のぴちぴち女子大生チームの女子十二楽坊も霞んでしまう位(リベンジ!)皆さん元気でしたね。「ごっつたく」も私は難しく途中で断念してしまいました。練習は少し参加させていただけ



私達は三月三日に川西町に着き、それから「PEARL ACE」のパネル製作のお手伝いや、パネルの設置、会場の準備などをさせていただきました。前夜祭の日は、午前中パネル設置をしていたところは吹雪いて作業がなかなか大変だったりしましたが、いざ前夜祭が始まってみると、天候も良くなり、祭りの最後に、灯したろうそくも暖かな光りを灯し、とても感動的でした。本まつりでの仮装十人十一脚では大人も子供も一所懸命になってマジンガーZになったり、春うららになったり…。私達のぴちぴち女子大生チームの女子十二楽坊も霞んでしまう位(リベンジ!)皆さん元気でしたね。「ごっつたく」も私は難しく途中で断念してしまいました。練習は少し参加させていただけ

た。もちろん数倍楽しめました。川西町の人たちとたくさん話す機会が持て、めったに見られないほどの雪も見れて、とても良い経験になりました。参加できて本当によかったです。(ご飯もとてもおいしかったです。<笑>)  
 (女子美術大学工芸学科二年/千葉県市川市出身)

お幸せに!

キラリあいあい祭では二組の雪上結婚式が行なわれました



中村強さん、智子さん (大白倉)



直井政和さん、綾子さん (十日町市)

無二の達成感

町中の人たちの顔写真を撮って、一枚一枚の写真 (piece) をつなげて (to) 平和へのメッセージ (peace) を込めた巨大な壁画を創るといって、壮大な企画「piece to peace」は、制作過程から壁画の出来映えまで、大きな話題となりました。

班長として事業を支えた押木敦子さん (45・元町) は、「一人でも多くの方の笑顔を集めるために全町をまわりました。ほとんど土・日の作業だったため、かなりのハードスケジュールだったにもかかわらず、班員の皆さん、学生の皆さん、協力してくださった皆さんに心から感謝しています。結果として、



壁画は「人が元気・町が元気・自然が元気」という町のキャッチフレーズを表現しています



踊り手も楽しみました「かわにし Gottaku!!」

目標以上のたくさんの笑顔を集めることができ、その達成感は無二のものになりました。皆さんから喜んでもらえて嬉しい限りです」と、目標以上の成果に素直に喜びを表します。

そして、これからも「住民の皆さんが参加していただける雪まつりにするために、新しい企画を模索しなければならぬと思います」と、早くも次なる目標へと心は動いているようです。

これからも川西ならではのものを

また、昨年夏に開催された大地の芸術祭で人気を博したホワイトプロジェクトの布を、小正月行事のさいの神と同じ形で組



初出場にしてはキマッていました

ました。練習だけでしたがとても良い経験になりました。あんなに難しく長い踊りなのに、本番ではお面まで被り、さらに雪の上で迫力のある踊りを披露して下さいました。

川西は本当に人々が明るく元気な町でした。地域内外が一緒くたになって川西町を盛り上げようという活気があり、そういう地域のつながり方は他の町ではなかなか見られないのではないかと思います。最後に、今回かわにし雪まつりに参加し、皆さんの親切や笑顔に触れることができて本当に良かったです。ありがとうございます。

(女子美術大学工芸学科二年 / 埼玉県三芳町出身)

武田 綾子



大地の芸術祭作品「ホワイトプロジェクト」の準備で初めて川西を訪れてからもう一〇か月が経ちます。初めて訪れた時は、田んぼの緑がとても綺麗で、町の

方も明るく元気で親切で、良い町だなあと感じました。その印象は今も変わっていません。雪まつりに参加させていただいた事で、雪も満喫でき、言葉では書きつくせないほど町の良さを感じ、よりいっそう好きになりました。そして、一番嬉しかったのは、芸術祭が終わってからもこうして町とのつながりがもてた事です。ホワイトプロジェクトは昇天祭で終わってしまったけれど、町と私たちとのつながりは始まったばかりだと思います。これから、こういったつながりがどんどん広がってほしいなあとと思います。雪まつりでお世話になった方々へ

本当にありがとうございます。皆様のおかげで楽しく過ごさせていただきました。これからもどうぞ宜しくお願いします。(淑徳大学社会学部社会福祉学科二年 / 東京都北区出身)

ロビン・ヴァアヒヤート

(Robin Weichert)



トンネルを抜けると雪。何度も聞いたことや読んだことがあった

場面だったが、今回、ボランティアをきっかけに「雪国」を実際に自分の目で見る事ができました。しかも、ただの旅行ではなく、川西町の住民と一緒に祭りの準備をして、少しでもそ

んだやぐらに巻き付けて昇天させる(燃やす)という「ホワイプロジェクト昇天祭」と、やはり夏に開催された天神ばやしワールド2で発表された「天神ばやし『かわにし』Gottaku!!」を組み合わせた催しも、参加者、観客ともに楽しむことができました。

ダンス甲子園・閉会式班班長としてこの催しをとりまとめた井川和子さん(43・新町新田)は、実施するに当たって、「練習回数が少ない中で、特に初めて踊りに出て来た方達にポイントをしつかり伝え、マスターして頂くように心がけました」ということで、その結果「心一つにして、皆の息がピッタリ合い、踊り終えた事に満足しています」と大きな手応えを感じているようです。

また、次回に向けて「川西ならではの歌詞とそれにちなんだ振り付けなので、今後もこのかわにしGottaku!!を続けていきたい」と、意欲を燃やしています。

## まつりは地域の宝

一方、雪まつり全体を統括したまちづくり推進課では、「時間のない中で、『まつり』に少しでも多くの町民の方々から関

わってもらい、それを楽しんでもらう雪まつりにしたかったのですが、前夜祭の「ほんやら村」が町内四地区九か所で開催され、今まで足を運べなかった住民の方も身近で雪まつりを楽しんでもらうことができました」と、各地区とも熱心に前夜祭に



いずれはこの子たちから

取り組んだことに高い評価をしています。

また、「本まつりイベントでは、全世帯に写真を撮りに伺うという川西町の人にしか思いついて実行できないような企画の

piece to peaceが、みごと三、九六六枚の写真によって平和へのメッセージの大きな壁画としてできあがり、町内外にPRできました」と観光的な側面からも効果があつたとしています。

次回に向けては、「今回、企画委員会を立ち上げるなど、時間のない中で、本当に大勢の皆様から、企画から実施に至るまで奮闘していただきました。『まつり』は地域の宝であり、地域の盛り上がりそのものです。今年培ったものが生かされるよう、次回も大勢の町民ほかのみなさんと一緒に創りあげていきたいと思っています」と総括してくれました。

## 次のステップへ

いずれにしても、「住民参加」を掲げて開催された今回の雪まつりは、地域の知恵と汗を結集する新しい動きに結びつきました。

これから、住民参加・住民自治が一層求められる時代を迎えるに当たっても、意義ある催しとなったようです。

この力を次のステップにつなげましょう。

の生き方、考え方やユーモア、そして方言の言葉も分かりました。祭りの前の木曜日にも、みんなぞそばを作る機会がありました。そのときに、自分が使った臼が従来はほとんどの人類が「共有している」道具だと教わりました。その「共有すること」も結局、雪まつりの目的ではないか、と想像したいです。

川西町という場や日曜日という時間、さらには世界や我らが生きている時代を「共有すること」、piece to peaceとホワイプロジェクトもその意味を持つていたに違いないと思います。平和とは、ミナナでしか守れないのです。だから、川西町



もちつきにもハマりました

の住民の写真が全体として平和の願いの象徴になりまます。そこで、自分の川西町の滞在も旅行やまつり開催の手伝い以上に、ある意味を持っていったと感じました。平和だと、自分さえも欠かせないだろうと思いました。

最後に、宿もすばらしかったし、もらった食べ物も美味しかったですし、雪まつりの手伝いも楽しかったです。そして何よりも、

久しぶりに見えた雪の風景の中、いろいろな人に出会えるのは嬉しかったです。いっしょに祭りの準備に取り組んでいた役場の皆さんに、そして雪まつりで一緒に遊んでいた川西町の皆さんに心から感謝します。

(東京学芸大学教育研究科歴史学専攻研究留学生/ドイツ出身)



江口 優美  
今回のかわにし雪まつりは「住民参加」をテーマに掲げてきました。あいにくの天候ではありましたが、多くの方々から参加していただけました。

川西ならではのイベントをはじめ、今年だけのイベントとしてホワイトプロジェクトの昇天祭。今年から始まった「みんなで創ろう piece to peace」も楽しんでいただけたと思います。

「みんなで創ろう piece to peace」では多くの方々からの参加・協力のおかげで三、九六六枚のpiece(笑顔)が集まり、川西町のpeace(平和)を創りあげることができました。

かわにし雪まつりをきっかけに人々との交流や団結、人々の平和と川西町のこれからの発展につながってほしいと思います。

(ボランティアスタッフとして各イベントを運営/朝日町)

## 第十八回 かわにし雪まつり ご協力御礼

去る三月六日、七日に開催いたしました「第十八回かわにし雪まつり」に際しましては、町民の皆様、スタッフの皆様、企業等の方々から多大なるご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

今回は、「住民参加」を合言葉に、「参加者が主体になる雪まつり」「地域間、世代間の交流がある雪まつり」、そして「大きな川西らしい目玉のある雪まつり」を柱に掲げての取り組みを行わせていただきました。

前夜祭では、四地区九か所の地域が、それぞれの趣向を凝らしたほんやら村を創ってくださいました。「まつりは地域の盛り上がりで創るもの」という言葉が正に形になった一日でした。

本まつりでは、川西らしい目玉として根強い人気の「仮装十人十一脚レース」や「ダンス甲子園」、「大抽選会」に加え、町内全戸に足を運んで完成させた三、九六六枚からなる「piece to peace」の壁画が披露目されました。町民の平和への想いが凝縮された正に大作にふさわしいものとなりました。そして、六十人の踊り子によって演出された「天神ばやし」『かわにし Gottaku!』と「ホワイトプロジェクト昇天祭」は、衣装と炎が白銀の世界に映え、観客を大いに魅了しました。本まつり始まって以来の二、八〇〇人という入場者があり、「屋台村」もあつという間に完売という盛況ぶりとなりました。

今後も皆様を楽しみむことができる「まつり」になるよう、なお一層の努力をしたいと考えておりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願いしあげ、御礼のごあいさつとさせていただきます。

平成十六年四月十日

かわにし雪まつり実行委員会  
会長 川西町長 田口 直人

## ザ・川西高校 13

### そば打ち体験の巻

#### そば打ち体験の感想

一年二組（三月現在）

齋喜 裕

一年生最後の期末テストも終わり、卒業式も終わった三月始め、スキー授業とそば打ち体験が行われました。

私のいる一年二組のそば打ち

体験は、三月四日の木曜日に行われ、金子先生、中條先生、中村先生、小林先生、関口先生の五人の講師の方に来ていただき、わかりやすく作り方の手順を教えてくださいました。

最初に関口先生が司会をしなから前の方で金子先生が実際にそばを打って見せてくれました。見てみると、とても手際よく

く粉を練って水を少しずつ加え、あつという間に固まってしまったので驚きました。

この「でっちあげ」という作業が終わると次に「くくり」という作業で、「菊ねり」というのを見せてもらいました。これは、生地を立てるようにして、中央に少しづつのみこんでいくやり方で、最後には菊の花のような形にな

るそうです。講師の先生方はとてもうまくたけれど、自分でやってみるとあまりうまくいかなかったのてこういう技術は練習が必要だと思いました。

これで生地ができると、「延し」の作業で、「鏡出し」、「丸出し」、「四つ出し」の三つがありました。丸い生地をつぶし、めん棒で全体に薄く円形の形に延していき、正方形にするために丸い生地をめん棒に巻き取り、また転がしながら延していきます。班に分かれてやっていたので他の人を見てみると端の方にひびが入り、そこから少しやぶれてしまうことがあったのでとても難しい作業だと思いました。

最後に「内分け」、「本延し」、「たたみ」で厚さを均一にし、さらに薄く延ばし、たたんで切り、ゆでて試食をしました。

自分たちで作った蕎麦は粘土のような歯ざわりだったけど、講師の先生方が作ったものは、歯ごたえや味の違いがよくわかりました。

また、このような昔の伝統を学ぶ機会があればいいと思います。



のような形にな

また、このような昔の伝統を学ぶ機会があればいいと思います。



千手小学校  
26人

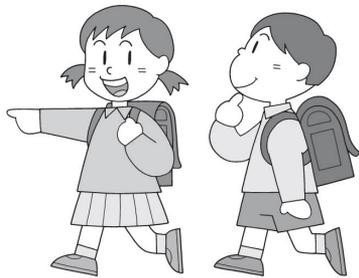
# 入学おめでとう 新1年生

4月5日、町内の各小学校で入学式が実施されました。今年の1年生は、4校合わせて63人（男子35人、女子28人）です。各小学校の1年生を紹介します。





上野小学校  
15人



橘小学校  
18人





## 仙田小学校 4人



## だんだん どーも！

32

### 二役の巻

「ときには汚れ役もやらんぞ」。

「金庫の最後の砦だと思つてチェックしてます」。

このほど、第一回川西町議会定例会で助役、収入役に再任された押木久之さん（60・木島／左）と根津昭一さん（59・上野／右）は、それぞれの職務の特徴を端的にこう表現します。

およそ、役場の仕事というものはすべて地方自治法に定められているもので、その究極の目的は住民の幸福を築くこと。

「その仕事スムーズに行くように調整しらんが務めかな」と押木さんがつぶやくと、「そのために強面になつたりピエロになつたり、大変ですね」（笑）と根津さんが続けます。

議会議決された予算が正しく執行されているかどうか、チェックするのが収入役の仕事。



「実際は、一つひとつ書類に目をとおしてハンコを押さんが役目」という根津さんに、「だども、たとえトップの意向でも突っぱねらいらんがそのハンコだね」（笑）と押木さんが突っ込み、ふたりの掛け合いの息はぴったり。

土曜、日曜でも必ず役場に顔を出す「仕事の虫」ともいえる押木さんの目下の楽しみは手料理。

「コロッケやみそ汁とか

で、そつて特別なもんは作らねやんだぜ」と言いながら、漬け物のウデは折り紙付き。「カカに『しよっぺすぎる』そうわれながら、してらんだて」と破顔一笑。

一方の根津さん。「土日は、一日を庭の草取りや木の枝おろし、ペンキ塗りなどで過ごし、一日は充電してます。これからは、日曜大工でいろんな物を作つてみたいと思つてます」と、目を細めます。

市町村合併を控えて、これからの職務のスタンスは、「背伸びせず、一日一日を自然体で」（押木さん）、「もう一度初心に帰つてスタートを切ります」（根津さん）と、静かなうちにも確固とした信念に満ちています。

## 国道と越ヶ沢

昭和四十年ごろの十日町市では、山地集落を結ぶ道路の改修舗装工事が計画的に進められていた。

しかし、「このように手をかけて仕上げた道を、やがては離村のトラックが走っていくのではないか」と、工事担当の職員が心配していた。過疎とか拳家離村という声広がっていたところの話である。

そして、残念なことに、そのことばどおりの拳家離村が続いて、家財道具を積んだ車が走り去り、山深いところにあるムラが減っていった。

この話とは逆に、ムラの真ん中を国道が通ることになり、近き将来の発展が予想されるといふのに、アレヨアレヨとびっくりしている人たちをよそ目にして、越ヶ沢集落は全戸が離村していった。

昭和四十九年の国道二五二号開通に前後する世帯・人口の動きを、国勢調査で眺めてみたい。

- |      |          |
|------|----------|
| 昭和三五 | 四一世帯一九八人 |
| 四五   | 三八 一六一   |
| 五〇   | 一七 六五    |
| 五五   | 一二 四七    |
| 六〇   | 一 四      |

(六十年十一月に閉村)

道路用地となって潰れた耕地

が、農業維持の基礎を崩してしまったのか、交通が便利になったことから、より大きい経済利益を得ることを期待させ、他郷への進出を夢みるようになったのか。それぞれにそれぞれの深い事情があったのであろう。

## 峠の茶屋

正保二年(一六四五)越後国絵図には村名がなく、田戸村の石高に含められているらしいと既述したが、高田城主松平光長時代に街道筋の整備が行われたらしいので、越ヶ沢のムラづく



通勤耕作地となっている今の越ヶ沢

# おふくの峠

上野 上村政基

(第三十六回)

りもそのころではないかと考えられる。

刈羽・柏崎街道と呼ばれ、峠越えするところだから、越ヶ沢の呼び名が生まれたのだろう。

仙田郷の赤谷から東に山を登ると、昔の赤谷城跡があり、そこからわずかで数軒の家が並び、峠の茶屋と呼ばれていた。

一休みして、さらに東へ進んで上野峠を越えると、道は下りになる。真向かいには八海山など越後山脈が走り、足もとには妻有郷が一望される。

山の上であるのに、良質な井

戸水が豊富で、越ヶ沢の茶屋の水は天下第一品だと評判されるほどだったという。

茶屋だけでは暮らしが立たないので、城山の下の沢に水田を拓いていたが、大変な崖道を登らなければならず、刈羽は現地で乾燥してから背負いあげたが、大難儀だった。

天和三年(一六八三)検地帳では高四三石九斗余で、田は二町歩余(二ヘクタール余)だがそのうち上田はわずか一反六畝(二六アール)と少なく、畑三町三反余のうち約半分近くが収

穫の低い下畑と山畑である。

なお、屋敷名義が八件ある中で、三件が「退転」と付記されている。どのような理由があったものであろうか。

一〇年後の元禄七年(一六九九)改村鑑には、家八軒・男三八人・女二八人とあり、馬六頭を飼っている。家数からみて馬が多いようであるが、農作業に使うのではなく、荷運びの用途があったからであろう。

## 神輿と三十三番

最盛期の越ヶ沢には、上ワ村と呼ぶ峠の一一戸があり、後に拓かれた現国道沿いの九戸、その下の沢沿いに二二戸と、合計四二戸があった。明治四十三年の記録には、合計三八戸・二四〇人とある。

信州から移ってきたと伝えられる小川氏が草分けといわれ、仙田郷の小川姓は、多くがこの系統に発しているという。

また、川崎氏も同じく古い家柄という。

千手へ移った総本家の川崎三氏は、医院を開業するともに、県会議員に当選して郡政・県政につとめ、青年団長・角道会長(相撲)・消防組頭などの他にも町政への協力が大きく、また出身地である越ヶ沢集落への思い入れも深かった。

越ヶ沢の鎮守社に川崎氏が寄進した神輿は、当地方には例のない見事な飾り付けのものであったが、それだけに大きくて重く、集落内の若者たちだけでは扱いかねたため、仙田郷や上野村からの若い衆たちまでが応援に駆けつけて、峠の上ワ村まで担ぎ上げ練り回った。

なお、伊勢平治観音堂の裏側に並んでいる西国三十三番仏塔は、越ヶ沢から転出する旧家が祀っていたものを、昭和五十年代に移したものである。

また、余談にわたるが、同仁王門の傍らに祀っている三十三番仏塔も、最初は上野から伊勢平治へ行く途中の杉林に祀ったものであるが、後年になって現在の場所に移転した。



千手観音堂境内に移された三十三観音

# 平成十六年度の 一般会計予算を読む

平成十六年度の予算が決まりました。

一般会計の予算規模は、五二億五、〇〇〇万円、前年度対比一億八、五〇〇万円、三・七%の増となっています。

景気の長期低迷により、町税は二・七%減の七億一、七七二万一、〇〇〇円、地方交付税については、四・八%減の一億七、〇〇〇万円を見込んでいます。

また、国庫支出金は、一三・一%減の二億三、七五二万円、県支出金は、投資的事業に対する新規の補助金を見込んだことから、一一・四%増の四億三、一四三万四、〇〇〇円となっています。

繰入金金は、全体で一・五%増の五億五、四四八、〇〇〇円、町債については、八・二%増の九億三、四〇〇万円となる見込みです。

地方交付税と同様に一般財源が大きく減少する分を、基金繰入金や町債の増額で補てんせざるを得ない厳しい予算となっています。

次に歳出ですが、人件費については、一般職員給与費が約二、三〇〇万円の減、特別職給与引き下げより一五二万円の減など、全体で十五年度に比べて二・三%減の九億七、九〇二万五、〇〇〇円となっています。

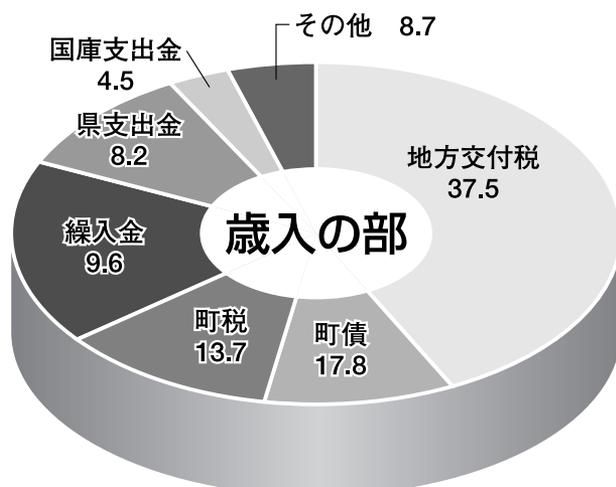
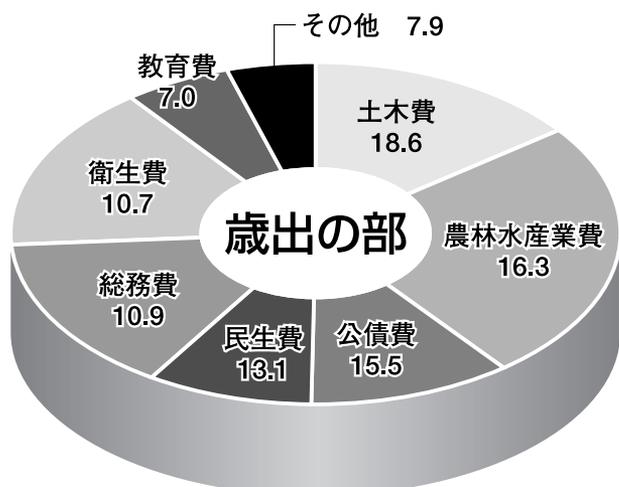
物件費は全体で三・五%増の六億一、二二五万一、〇〇〇円となっていますが、経常的な物件費については、地方交付税等経常一般財源の縮減に合わせて六・六%、約三、四〇〇万円の節減をいたしました。

普通建設事業費は、二・三・八%増の一三億八、四一四万円、公債費は、二・〇%増の八億二、三三七万円、繰出金は、三・二%減の五億三、〇六五万八、〇〇〇円となっています。

一般会計と六つの特別会計の合計予算額は七九億四、九五〇万円、前年度当初予算に比べて一億七八〇万円、一・四%の増となっています。

なお、各事業の概要については、「一六ページからの「今年はこちらをやりまします！」をご覧ください。

## 平成 16 年度一般会計予算 《52 億 5,000 万円》の内訳



(単位：%)

### 〈歳出〉「その他」の内訳

消防費	3.2
商工費	2.3
議会費	1.5
労働費	0.4
災害復旧費	0.3
予備費等	0.2

### 〈歳入〉「その他」の内訳

諸収入	1.8
地方譲与税	1.5
地方消費税交付金	1.1
分担金および負担金	1.1
繰越金	1.0
使用料および手数料	0.7
自動車取得交付金	0.5
財産収入	0.5
地方特例交付金	0.3
利子割交付金	0.1
交通安全対策特別交付金等	0.1

# 川西町平成 16 年度予算 主要な施策

快適な暮らしの中に安らぎと感動のあるまちづくり！

区 分	主 要 事 業	予 算 額 (単位：万円)
1 夢を育む人づくり	○特色ある学校づくり運動事業（町単独事業として継続実施）	170
	○特別支援教育事業（就学指導のあり方を再検討し、児童の就学・通学を支援する）	771
	○学校施設整備事業（橘小学校グラウンド改修ほか）	1,040
	○情報通信技術講習事業（ワード・エクセル初級・中級講習等の継続実施）	178
	○国民体育大会冬季大会会場誘致事業（2009年冬季国体バイアスロン競技）	245
	○新規：町民体育祭事業（オリンピックの年に合わせて開催）	181
2 健康で安心して暮らせる地域づくり	○子育て支援事業（子育てグループの活動補助等）	307
	○乳幼児心の栄養づくり事業（絵本の読み聞かせや貸し出し等）	20
	○特別保育事業（乳児保育、延長保育、一時保育、学童保育等）	1,097
	○健康増進施設整備事業（健康プールの建設、6月完成・7月オープン予定）	1億9,556
	○健康づくり対策事業（水中運動教室の開催、健康増進施設の管理運営委託）	2,550
	○介護予防事業（転倒骨折予防教室の開催等）	162
3 働く喜びにあふれる産業づくり	○新規：ふるさと活性化対策事業（賑わい空間内産直施設建設費補助）	2,410
	○食のまちづくり支援事業（「そば」を媒体としたまちづくりを展開）	176
	○地産地消支援事業（山菜の栽培など特産品開発等を支援）	100
	○中山間地域等直接支払交付金事業（不利な農業生産条件を補正）	2,730
	○新規：産地づくり支援農地情報整備促進事業（農業情報の基礎データを整備）	1,292
	○緊急地域雇用創出特別基金事業（緊急かつ臨時的な雇用・就業機会の創出）	3,207
4 快適で美しい環境づくり	○エコタウン推進事業	4億6,609
	① 有機センターの建設及び施設管理運営の準備	
	② 生ごみリサイクル普及啓発事業の継続	
	○街路事業（まちづくりに関する協定化等の検討）	223
	○生活関連道路整備事業（道路改良、舗装等）	1億968
	○克雪対策事業（除雪機械の更新、流雪溝整備）	2,620
5 楽しさ広がるふるさとづくり	○コミュニティ対策事業（地域自治組織の検討、地区振興会の設立と支援検討）	578
	○地域の情報化推進（高速通信体系整備事業に対する情報提供）	26
	○賑わい空間整備事業（コミュニティセンター・商業エリア雁木建設）	4億3,150
6 開かれた自主的行政の推進	○行政の情報化推進（戸籍事務の電算化、行政情報ホームページの更新等）	5,461
	○市町村合併問題の検討（合併協議会への参加、資料収集・調査等）	108

川西町議会第一回定例会において、平成十六年度予算や各事業の審議が行われ、議決されました。その概要を、田口町長の施政方針演説から抜粋して紹介します。



施政方針を述べる田口町長

# 今年はこちらを やります！

## 初心に帰って

現代社会が抱える問題は、かつての物質的豊かさを求めた経済優先の国家的課題から、少子高齢社会や環境問題への対応といった地域個別型の課題へと大きく変化しています。

これまでの中央集権型の社会システムでは、もはや的確な対応が困難となり、これに代わって新たな地方分権型のシステムを構築していくための改革が、今まさに進められているのであります。

昨年私は、議会の皆様をはじめ、町民の皆様方の温かいご支援をいただき、再び町政を担うこととなり、町の更なる発展の重大な使命をいただいたものと、その責任の重さを痛感しています。

これまで「自分たちの町は自分たちで創りあげる」という「住民主体のまちづくり」を基本理念に据え、町民一人ひとりのお考えを大切にしながら町政を心がけてまいりました。多くの町民の皆様が支えてくれたことに感謝し、初心に帰って町政の運営に励む決意を新たにしています。中でも、町の将来に関わる合

併問題が最重要課題であり、関心が集まることは当然のことではありますが、川西町は合併問題以外でもさまざまな課題を抱えています。平成十六年度も歩みを止めることなく「快適な暮らしの中に安らぎと感動のあるまち」の実現に向けて、一歩一歩着実に、基盤整備を進めてまいりたいと考えています。

平成十六年度に取り組む主要な施策の概要について、総合開発計画で定めた区分ごとにご説明します。

### 夢を育む人づくり 四年ぶりの町民体育 祭を町民一体で

最初に、学校教育の分野では、三年目を迎える特色ある学校づくり運動事業であります。これは、これまでの画一的な授業に代えて、地域や学校、子どもたちの実態に即して、各学校が創意工夫をしながら、特色ある教育活動を展開する「総合的な学習」を、県の補助事業は終了いたしました。町単独事業として引き続き支援してまいります。

次に、特別支援教育事業は、形骸化が懸念される就学指導委員会のあり方を再検討し、それ

ぞれ異なる事情を抱える子どもたちに、最も適した教育環境を提供できるよう支援していくもので、小・中学校あわせて四人の介助員を配置し、送迎の委託も含めて児童・生徒の就学・通学に柔軟に対応していくものです。

生涯学習の分野では、情報通信技術講習事業を継続して実施



射撃とクロスカンリースキーが組み合わされたバイアスロン

します。入門コース及び初級者、中級者を対象とした講習を計画していますので、積極的に参加していただきたいと思えます。

また、平成二十一年二月に開催予定の冬季国体のバイアスロン競技大会を、川西町で開催するための準備を進めてまいります。

バイアスロンという競技は射撃を伴うスポーツですので、安全性を考慮して会場を選定し、公安委員会等の内諾が得られ次第、地権者説明や同意取得事務を進めてまいります。

さらに、十六年度は四年に一度のオリンピックがギリシャのアテネで開催されますが、川西町におきましても、全町民が一堂に会しての町民体育祭を開催します。

四年ぶり第十一回となる今回の町民体育祭が、「町民皆スポーツ」、「体力づくり宣言町」にふさわしい大会となるよう、町民の皆様にご協力をお願いする次第です。

## 健康で安心して暮らせる地域づくり 健康プール 七月にオープン

町の未来を担う人材を育む施策として、子育て中の母親と乳幼児を支えている子育てネット

ワークグループの活動を、引き続き支援してまいります。

また、「乳幼児こころの栄養づくり事業」も継続して実施します。一般的にはブックスタート事業と呼ばれ、読書を通して親子のふれあいを深めようとするものです。

町では、一〇か月と一歳半の乳幼児健診の際に、絵本の効能や読み聞かせの方法を指導し、絵本のプレゼントと、希望する方には貸出しも行ないます。

保育園関係では、乳児保育、午前七時から午後七時までの延長保育、家庭の事情により未就園児を預かる一時保育などの「特別保育事業」を実施します。また、学童保育についても国の補助事業を活用して実施します。

障害者福祉施策は、障害をお持ちの方が自らサービス提供者を自由に選択し、サービスを利用する制度である「支援費制度」が二年目を迎えます。

新年度からは、福祉センターを会場に、ひとり暮らしのお年寄りや日中家の中に閉じこもりがちなお年寄りを対象に、「生きがい活動支援通所事業」を実施します。併せて、「転倒骨折予防事業」も福祉センターで開催します。

また、介護サービスの拠点施設

設である「あかね園」の増床事業については、あかね会が借り入れた事業資金の償還費について財政支援をしてまいります。

現在工事中の健康増進施設（健康プール）については、準備を整えて七月初旬にオープンの予定です。健康づくり、体力づくり、また、コミュニティ活動に町民の皆様から大いに利用していただきたいと願っています。

広域事業として、十日町地域衛生施設組合では霧谷に管理型処分場の建設に取り組み、十七年四月の供用開始を目指してい

ます。このことにより、処分経費を大きく削減できるものと期待しています。

## 働く喜びにあふれる産業づくり 農地情報システムづくり に取り組みます

これからは、激化が予想される米の産地間競争に打ち勝てる生産体制づくりを推進し、徹底した「売れる米づくり」を目指すことが重要となります。

また、地産地消支援対策事業については、特産品、加工品開発などに対して支援していくこ

ととしています。とりわけ西部地区において、遊休農地等を活用した山菜の栽培及び販売を重要な施策と位置付けています。

そしてこれらの特産品を、道の駅の産直施設をはじめ、JAの加工施設や本年度建設予定の産直施設それぞれが、お互いに連携し合いながら特色を持った販売戦略のもとで、売り出していくことが重要と思っております。

食農教育の観点から、地場産農産物の学校給食への供給が、最近特に注目されてまいりました。循環型社会の構築に向けた



完成間近の健康プール



大きな一歩となることから、こうした取組みを実現すべく体制の整備を図ってまいります。

担い手対策につきましては、安定経営の面からも更なる農地の利用集積を進め、国の有利な支援策を活用しながら、組織の統合・再編や法人化に向けた取組みを強化してまいります。

また、中山間地域等直接支払事業も五年目を迎え最終年となりますが、耕作放棄解消事業などにより、持続可能な生産基盤の維持に努めてまいります。

さらに、「産地づくり支援農地情報整備促進事業」という新規事業に取り組みむことといたしました。農地に係る様々な情報を地図上で総合的に管理・加工できる農地情報システムは、担い手への農地集積、作付け計画の検討、水利用の調整など、農地管理や営農活動を進めていくうえで欠くことのできない手段であり、今後一層の有効活用が見込まれています。

### 快適で美しい環境づくり 有機センター本体工事に着手します

平成十六年度は、有機センターの本体建築工事の実施と、生ごみ収集や堆肥利用、管理運営体制の確立を図ります。総事業

費四億七千万円ほどとなる有機センターの建設は十六年度中に工事を完了させて、十七年四月からの供用開始を目指しています。

建物は、鉄骨平屋建てで、年間六〇〇トンの堆肥生産を計画しています。発酵熱循環利用システムを採用し、維持管理費の軽減を図るとともに、臭気対策にも十分意を注いだ設計となっています。

施設の管理運営については、広く確実な堆肥利用を図るため、旧町村単位の機械施設利用組合などで構成する有機センターの管理組織を新たに立ち上げ、委託する方向で協議・検討を進めています。



有機センター用地造成工事

次に、現在取り組んでいる生ごみリサイクル活動及び実証は

試験の事業については、有機センターの円滑な業務運営につながり、適切な堆肥利用につなげていくうえで欠くことのできないものでありますので、十六年度も継続して実施したいと考えています。

このほか、道路整備事業については、過去最大の財源不足の中ではありますが、継続事業を中心として可能な限り整備を図ってまいります。

また、慢性的な地下水不足にある当町の有効な克雪対策として期待されている流雪溝の整備についても、積極的に対応してまいりたいと考えています。

さらに、国・県道事業では、小白倉地内の国道四〇三号では、仮称・白倉大橋の架橋工事が、上野地内の国道二五二号では交差点改良工事が、それぞれ本格的に施工される見込みとなっているほか、同じ国道二五二号の木落地内のバリアフリーまちづくり整備事業による歩道改良や千手地区における街路事業など、新規要望を含めた事業の促進について、国や県に対して積極的に働きかけてまいります。

### 楽しさ広がるさとづくり コミュニティ施設を 着工します

昨年から建設を進めてまいりました健康増進施設の整備については、前述のとおり本年六月完成・七月オープンをめざして、仕上げの段階を迎えています。

また、生涯学習センター機能を備えたコミュニティ施設の整備については、賑わい空間創出事業の各種施設整備を締めくくる工事となるもので、現総合センターの改修を含めた実施設計がまとまり十六年度から工事に着手する運びとなりました。平成十八年春のオープンを目指して取り組んでまいります。

商業施設エリアについては、十六年度はJA十日町の産直施設をはじめとした施設の建設に合わせ、雁木を県道まで延ばす予定にしており、温泉へ通じる門前町のような商業施設の整備を進めてまいります。

商業施設の整備により、賑わい空間エリアへの人の流れが大きく増えてくることを見込まれるため、賑わい空間への効果的な誘導表示計画を具体化してまいります。

また、平成十二年度から整備を継続していただいています県単街路事業については引き続き取り



(コミュニティ施設の完成予想模型)  
右手が総合センター改修部  
左側がホールを中心とした増築部

組んでいただけの予定でありま  
す。

主要地方道小千谷十日町津南  
線の街路事業についても、賑わ  
い空間創出事業が順調に進捗し  
ていることから、平成十六年度  
事業採択に大きな期待を寄せて  
いるところであり、賑わい空間  
を中心とした街並み環境の整備  
を、一層進めてまいります。

一方、住民自治の確立に向け  
た取組みについては、合併協議  
会との関連もあり、「地域審議  
会」、「地域自治組織」について、  
具体的な検討を進めてまいりま  
す。

これから期待される地域自治  
組織は、自立・自発的な地域運  
営が実践できる、つまり企画・  
立案から執行に至る包括的な役  
割を、自己決定・自己責任のも  
とで分担できる組織でなければ  
なりません。専門家も交えた検  
討委員会を設置するなどして研  
究・協議を重ね、組織化も図り  
たいと考えています。

## 開かれた自主的行政の推進 五市町村の合併を進 めます

市町村合併の問題は、総合的  
な行財政機能の強化や住民参加  
を基本とする地方分権システム  
を確立する必要から生まれたも

のであり、国や地方を取り巻く  
社会情勢の大きな変化や厳しい  
財政状況など、まわりの変化に  
対応していくために、自治体も  
変わっていかねければなりません。

しかしながら、これまでも繰  
り返し申し上げてきたように、  
川西町民の皆様が真に豊かな地  
域社会の一員であることを実感  
できる合併でなければなりません。

選択肢はなにも合併だけでは  
ありませんが、次々と打ち出さ  
れてくる新たな国の施策が、川  
西町程度の人口規模や行政面積  
の自治体にとって不利となるも  
のばかりであり、川西町が自立  
を選択していくには非常に厳し  
い情報がほとんどです。

現在協議を進めています五市  
町村による合併によってスケール  
メリットが働き、一層の行財  
政基盤の強化が期待できること  
から、必ずや町民の皆様の福祉  
の向上につながるものと確信  
し、合併を推進してまいります。  
昨年に引き続き、できる限  
りの情報提供に努め、「新市建  
設計画」や「地域自治組織」な  
どを町民の皆様へ説明し、皆様  
のお考えをお聞きする機会を設  
けながら、川西町の将来を選択  
する極めて重要な最終判断をす  
ることとなります。

住民基本台帳の全国ネットワ  
ーク化については、一昨年にス  
タートし、昨年の八月二十五日  
から二次稼働として、広域にお  
ける住民票の写しの交付などが  
可能となっています。



いよいよ「法定協議会」へ

また、平成十五年度から戸籍  
事務の電算化に取り組んでまい  
りましたが、三月二十日から稼  
動し、これからは迅速な戸籍事  
務処理により、住民サービスが  
より一層向上します。

さらに、高速通信体系の整備  
を、広域六市町村が連携して取  
り組んでまいります。平成十七  
年度を目標に各地域・各家庭ま  
での高速通信網を整備し、大規  
模な災害時の緊急通報や障害  
者・高齢者に対応した情報シス  
テムの導入、さらには、こうし  
た高度の社会基盤が整備される

ことにより、地理的、時間的制  
約から解放された分野の新産業  
創出につなげたいと考えていま  
す。

平成十六年度は、地域情報化  
の拠点となる公共機関ネットワ  
ークを構築することとしてお  
り、専任の係を設けて重点的に  
取り組んでまいりたいと考えて  
います。

## ともに汗を流しまし よう

平成十六年度は、第五次総合  
開発計画後期五か年計画の四年  
目に当たりますが、法定期限内  
の市町村合併を想定し、計画期  
間を一年繰り上げ、最終年度と  
して、どうしても十六年度中に  
種をまき、芽を出しておかなけ  
ればならない施策を柱として予  
算を編成したことから、国・県  
をはじめ、多くの自治体がマイ  
ナス予算を編成する中で、あえ  
て積極的な予算を編成し、山積  
する諸課題に対して、果敢に挑  
戦していく覚悟です。

町民の皆様方と知恵を出し合  
い、ともに汗を流しながら、新  
しい時代にふさわしい地域の建  
設を進め、人が元氣、町が元氣、  
自然が元氣な川西町にしたい  
と思っています。皆様のご協力  
を、切にお願い申し上げます。



三月一日から始まった第一回  
川西町議会定例会は、十九日に  
全日程を終え、閉会しました。

一日は、諸般の報告に続いて、  
「新潟県町村職員退職手当組合  
の解散に伴う財産処分（専決第  
六号）」ほか一五件の専決処分  
した事件が承認されたあと、  
「川西町公の施設に係る指定管  
理者の指定手続等に関する条  
例」ほか一〇件の条例制定及び  
二件の規約変更、「平成十五年  
度川西町一般会計補正予算（第  
五号）」ほか二件の特別会計補  
正予算、町道路線の認定などが  
原案どおり可決されました。

三日、四日には町長の施政方  
針と各会計別新年度予算の提案  
説明があり、以後、各常任委員  
会の審議が行われました。

十八日の八人による予算・町  
政に対する総括質疑を経て、十  
九日、平成十六年度一般会計予  
算と六つの特別会計予算、水道  
事業会計予算などが成立しまし  
た。また、助役及び収入役の選  
任の同意では、助役に押木久之  
氏、収入役に根津昭一氏がそれ  
ぞれ再任されました。

なお、議会の模様は四月二十  
日発行の「議会だより」をご覧  
ください。

# 新市名「十日町市」を確認

## 美雪市と一票差

平成16年3月21日、松代町総合センターを会場に「第15回十日町広域圏合併任意協議会（会長・山本中里村長）」が開催されました。

合併協議で難しい課題の一つである「新市の名称」について協議されました。



### 三案から「十日町市」へ

はじめに、前回の合併任意協議会で、六案から絞りこまれた三案（奥越後・十日町・美雪）のうち、支持意見が少なかった「奥越後」を除くことが確認され、二案から一案を選定する方法を協議委員会による無記名投票で行うことが決められました。

投票の結果、十日町市／十四票、美雪市／十二票となり、新市の名称を「十日町市」とすることで確認されました。

なお、正式な決定は四月一日に設置された「合併協議会」で確定されます。

### 後世に伝える 新市づくりへ

新市の名称について、川西町の姿勢は、昨年の住民懇談会でも説明していたとおり、「新し



委員26人のトップを切って投票した田口町長

りたいと考えています。

市町村合併は、「新しいまちづくり」への手段であって最終目的ではありません。合併の議論をおして十年後、二十年後の将来を見据え、「自分の地域は自ら創る」という考えに立ち、この川西町の地域に生活を営む次代の人たちに、責任を持って引き継がなければなりません。

確かに「合併時点がどうなるか」も大切な課題ですが、広い視点で後世に伝えるための川西地区づくりの一步を住民の皆様と踏み出したと考えています。

××××××××××××××××

### かわにし合併物語

#### 合併協議会の設置を可決

##### 川西町議会

三月三十日に第二回川西町議会臨時会が招集され、五市町村による「十日町広域圏合併協議会」の設置議案を審議し、可決しました。

い市は新しい名称に！」を基本的な方針として取り組んできました。名称が六案から三案に絞りこまれた後、各市町村長の話し合いによる協議が持たれましたが、一本化までには至らず、投票という形で決定されました。住民の皆様には、新市の名称が「十日町市」ということで、吸収（編入）合併というイメージを持たれる方も大勢いらっしゃると思います。町としても大変残念な結果になりましたが、今後は周辺対策の充実を目指して、住民の皆様から寄せられた不安事項を解消するために、協議を進めてまい

# 真剣に考えよう 合併について

30



# 真剣に考えよう 合併について



合併協議会設置議案の可決の瞬間（3月30日午前10時43分 川西町役場議場）

他の四市町村でも、同日付で各市町村議会に設置議案が上程され、いずれも可決されました。これにより、五市町村による「十日町広域圏合併協議会」を四月一日に設置し、市町村合併の最終協議を進め、新市での住民サービスや制度などを決定していきます。

なお、他市町村での可決状況は次のとおりです。

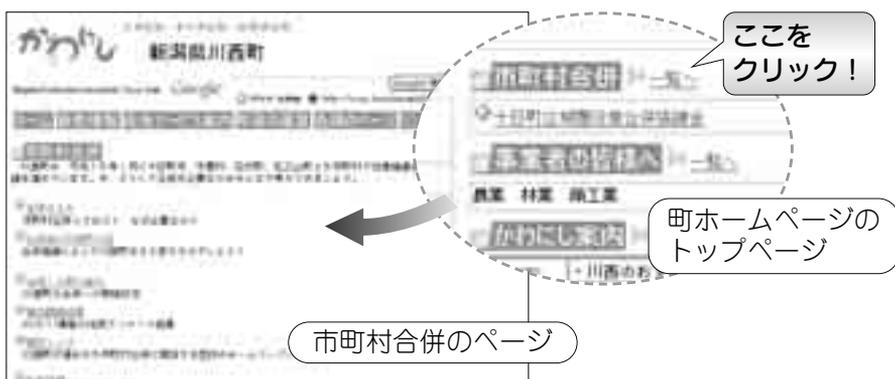
議決日：平成 16 年 3 月 30 日

市町村	議 会	採択結果	賛 成	反 対
川西町	臨時会	可 決	16	1
十日町市	定例会	可 決	16	3
中里村	定例会	可 決	8	5
松代町	臨時会	可 決	12	1
松之山町	臨時会	可 決	6	3

町ホームページでも合併情報を提供します。

本紙二二ページで、川西町の

ホームページ開設のお知らせを行いました。市町村合併情報も随時掲載していきますので、ぜひご覧ください。



こちら合併協議会

十日町広域圏合併協議会

この合併協議会は、「地方自治法」及び「市町村の合併の特

例に関する法律」の規定に基づいて設置されたもので、主に次に掲げる協議を行います。

- 一、五市町村の合併に関する協議（事務事業の最終調整）
- 二、新市建設計画の作成
- 三、合併協定書の作成・調印
- 四、地域自治組織の研究

## 委員と組織構成

委員体制は、合併任意協議会と同様に五市町村からそれぞれ五人ずつと新潟県十日町地域振興局長とを合わせた二十六人の委員で構成され、その中から会長及び副会長を五市町村の長が協議して選任します。

川西町からは、下表のみなさんが委員として参加します。

区 分		川西町から
1号委員	市町村長	田口直人（町長）
2号委員	市町村議会の議長	吉楽正実（町議会議長）
	市町村議会の合併特別委員会の委員長	北村公男（町議会市町村合併対策特別委員長）
3号委員	学識経験を有する者	押木篤美（田戸） 小島伸子（新町新田）

## お知らせ

### 十日町広域圏合併協議会

合併協議会は公開を原則としていますので、どなたでも傍聴が可能です。ぜひお出かけいただき、合併協議の動向をご覧ください。

#### ●第1回

- ・ 4月13日（火）
- ・ 午後1時30分から
- ・ 中里村総合センター

#### ●第2回

- ・ 5月7日（金）
- ・ 午後1時30分
- ・ 十日町市クロス10

## 高橋さんに 100歳の祝い品を贈る



暖かい家族に囲まれて記念写真

三月四日、高橋ヒサさん（中仙田）に百歳のお祝い品が贈られました。

高橋さんは、明治三十七年三月四日のお生まれで、数年前に自宅で転倒して足を悪くしてから車椅子での移動になったそうです。

「おばあちゃん、百歳おめでと〜ございませ〜と田口町長の呼びかけに両手を合わせて感謝の気持ちを表したり、花束のプレゼントに、手で顔を覆い喜んでる様子でした。

「若い頃は体が弱く、こんなに長生きしてくれるとは思ってもみませんでしたよ」とご家族の方も笑顔で語ってくださいました。

## 南雲さんに 経済産業省統計調査功労者感謝状

三領の南雲隆三さん（70）に経済産業省所管統計調査功労統計調査員に対する感謝状が贈られました。

南雲さんは、昭和二十五年から統計調査員として各世帯や事業所等へ訪問し、各種統計調査にご尽力してきたことが認められ、三月二十四日に役場町長室で押木助役から感謝状の伝達を受けました。

南雲さんは、平成二年にも世界農林業センサスの功績で、農林水産大臣表彰を受けています。



## 桐生さんに消防団永年勤続功労章

大白倉の桐生征之介さん（65）に、消防庁長官から消防団永年勤続功労章が贈られました。

桐生さんは、昭和四十年から約三十九年間にわたり消防団団員・班長・部長として地域消防・防災に尽力してきたことが認められ、これまで新潟県消防協会長・新潟県知事・日本消防協会長から勤続章・精勤賞・幹部功績章などを授与されていきます。

今も現役の桐生さんは、「これからも一団員としてがんばります」と決意を新たにしています。



## 町のホームページが新しくなりました



このほど、町のホームページの更新作業が終了し、公開されました。

主な内容としては、五つのキーワードに分類された総合サービス案内を中心に、町のできごと、イベント、各課のページ、議会、市町村合併など、町全体の流れが項目ごとに検索できるようになっています。

住民、事業者、訪問者それぞれの立場から情報を得ることができますので、ぜひ町のページを開いてみてください。

川西町ホームページアドレス  
<http://www.town.kawanishi.niigata.jp/>

## 戸籍電算システム稼働

昨年3月から準備を進めてきた戸籍の電算化事業が完了し、3月22日にシステム稼働のテープカットが行われました。

戸籍電算化とは法務省の定めたコンピュータ処理による戸籍管理の方法です。これまでは和紙に記載されていましたが、法律の改正等によりコンピュータの記憶装置を戸籍簿の正本とすることが認められました。

このシステム導入により、戸籍届書受領から戸籍作成までの時間が大幅に短縮ができ、住民票と同様に戸籍の即時交付が可能になりました。

つまり、事務処理の軽減により、住民サービスの充実が一層図られるようになりました。

なお、戸籍の電算システムは、平成15年12月末現

在で、全国3,325自治体中1,359自治体で、新潟県内では平成16年3月末現在101自治体中45自治体で稼働しています。



田口町長を中心にテープカットをする関係者



小林会長を中心に九人の役員が会を支えます

## 地域ささえあい組織 「はあとふる」設立総会

3月30日、総合センターで地域ささえあい組織「はあとふる」の設立総会が開催されました。

会場には約40人が集まり、会長には小林力さん（神社町）が就任しました。

現在の会員数は協会員64人、賛助会員186人、利用会員10人で、活動内容は外出支援、家事支援、子育て支援など多岐にわたっています。

少子高齢社会で地域住民やその家族が地域のささえあい活動を通じて、住み慣れた町で安心して暮らせる地域づくりを進めようというこの活動の輪が、どんどん広がってほしいですね。

千手温泉・千年湯で  
全国川西の写真展開催  
千手温泉・千年湯で、  
全国川西会議（ネットかわにし）構成市町（兵庫  
県川西市・奈良県川西  
町・山形県川西町・新潟  
県川西町）の写真展が開  
催されています。  
ぜひご覧ください。  
会期 五月十日（月）  
まで

## 自律の村づくり講演会開催

三月十日、川西町商工会館で長野県栄村の高橋彦芳村長を迎えて「一人ひとりが輝く自律の村づくり」と題した講演会が開催されました。

これは、川西町合併を考える会（真明成光代表世話人）が主催したもので、町内外から約六〇人が参加しました。

住民が主体となって進める「田直し・道直し事業」などユニークな住民自治活動を進めていることや、市町村合併はせず自律の道を選んだことにより、栄村の村づくりは全国から注目を集めています。

高橋村長は、国が進める市町村合併は行政学の視点で進められているもので、農村社会学の観点から欠けているとして、地域の特性を基本とする住民の自治活動によって村づくりを進める決意を、具体例を示しながら熱心に語りました。



栄村高橋村長の話聞き入る参加者

# 宅地分譲のお知らせ



分譲価格表に掲載されている土地を自家住宅用に分譲しています。

区画については、申し込み順に決定します。

なお、今年度から申込資格を拡大し、より購入しやすくなりました。従来の「自らの住宅を建設するために宅地が必要な方」に次のケースを含めました。この場合、二者の連名での申し込みとし、土地開発公社と三者契約を結びます。

①土地購入者（入居者と同じ）と住宅建設者が異なるが、住宅建設者が土地購入者の配偶者又は二親等以内の親族の場合。

②土地購入者と入居者が異なるが、入居者が土地購入者の配偶者又は二親等以内の親族の場合。（住宅建設者は土地購入者か住宅入居者のいずれかとなります）

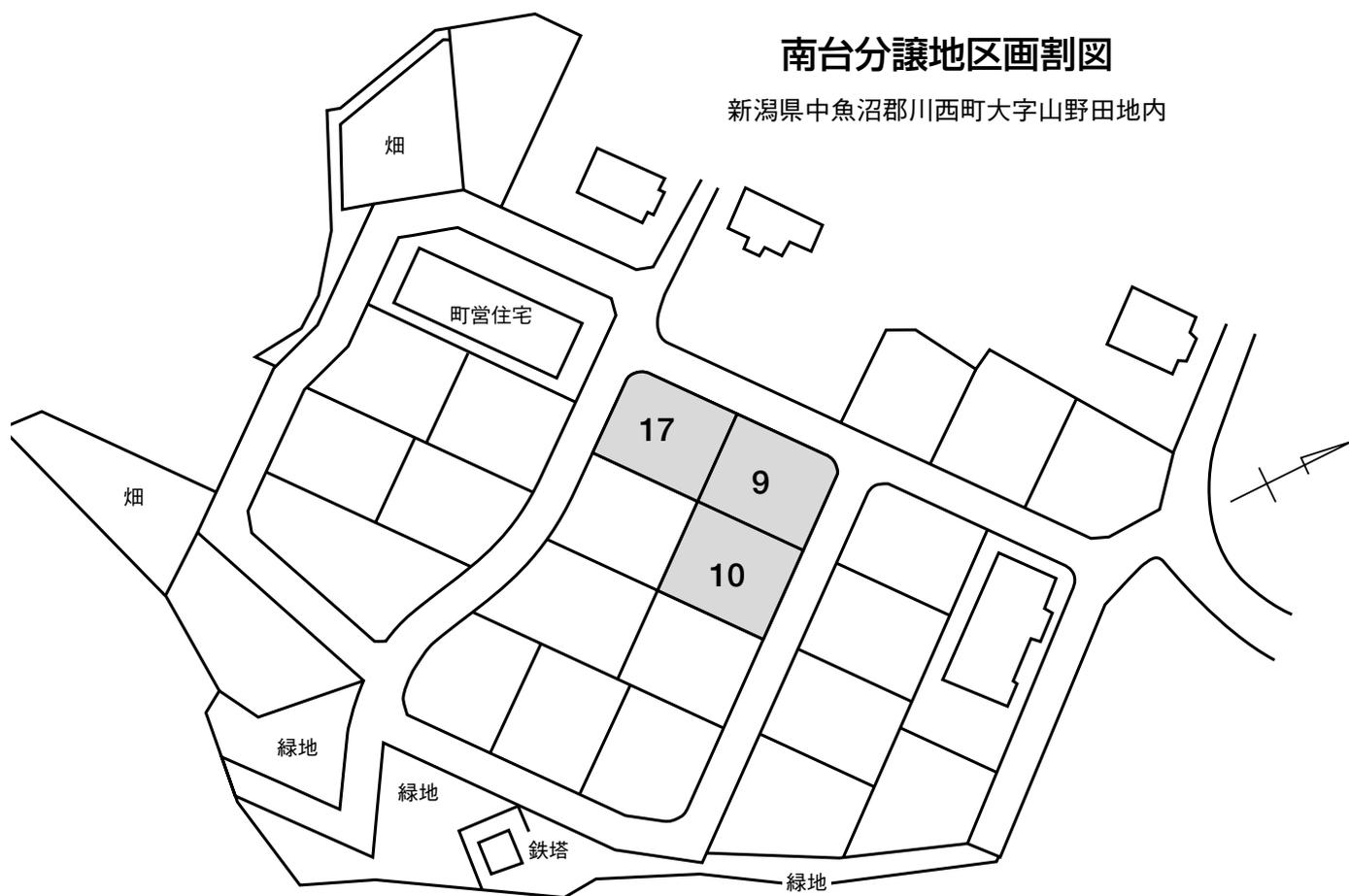
本分譲地は、一般の不動産売買と異なり、仲介手数料がかからずお買い求めやすくなっています。詳しい物件内容手続き等については、左記までお問い合わせください。

## ■お問い合わせ

十日町地域土地開発公社 川西事務所（まちづくり推進課内）  
☎68-4952

## 南台分譲地区画割図

新潟県中魚沼郡川西町大字山野田地内



## 分譲価格表

区画番号	地番	画地面積 (㎡)	土地代金 (円)	下水道負担金 (円)	分譲価格 (円)	備考
9	412-54	313.08	9,235,000	分譲価格に含む	<b>9,235,000</b>	
10	412-55	313.04	8,921,000	分譲価格に含む	<b>8,921,000</b>	
17	412-62	313.20	9,239,000	分譲価格に含む	<b>9,239,000</b>	

※上水道加入金については、分譲価格に含まれていません。生活環境課にお問い合わせください。

※この表にない区画については、既に売却済みです。



# 南台宅地・美咲町

## 美咲町分譲地区画割図

新潟県中魚沼郡川西町大字中屋敷地内



## 分譲価格表

区画番号	地番	画地面積 (㎡)	土地代金 (円)	㎡単価 (円)	上水道加入金 (円)	下水道負担金 (円)	分譲価格 (円)	備考
2	153—3	346.47	8,315,280	24,000	173,250	500,000	8,988,530	建柱あり
8	153—10	326.71	8,331,100	25,500	〃	〃	9,004,350	
9	153—11	319.77	7,994,250	25,000	〃	〃	8,667,500	
19	153—21	310.51	8,073,260	26,000	〃	〃	8,746,510	
22	153—24	327.47	8,350,480	25,500	〃	〃	9,023,730	
23	153—25	326.95	8,337,220	25,500	〃	〃	9,010,470	
24	153—26	331.93	8,464,210	25,500	〃	〃	9,137,460	
25	153—27	316.79	7,602,960	24,000	〃	〃	8,276,210	
27	153—29	327.18	8,343,090	25,500	〃	〃	9,016,340	
28	153—30	327.65	8,355,070	25,500	〃	〃	9,028,320	

※この表にない区画については、既に売却済みです。

# 催し

## 十日町・中魚沼地域 就職ガイダンス

- 期日 四月二十七日(火)
- 時間 午後一時三〇分～
- 会場 クロス10
- 対象 来春の大学・短大・各種学校等卒業予定者及び十日町市・中魚沼郡内へのU・Iターン希望者
- 問い合わせ  
ハローワーク十日町  
☎57-2407

# 募集

## フリーマーケット出 者・出品者大募集

- 子育てネットワーク「ひろば」主催の子供用品限定フリーマーケットを開催します。ついでには、衣料品(ベビーから150cm)、滑り台、チャイルドシート、自転車、マタニティなどの出品者と出店者を大募集します。大勢の皆さんからのご参加をお待ちしています。
- 期日 四月二十四日(土)
- 時間 午前十時～正午
- 会場 川西町総合体育館
- 問い合わせ

# 教室・講習

## 家族介護教室のお知らせ

- ご家庭で介護にあたっていらっしゃる、介護に関心をお持ちの方、どなたでもご参加ください。
- 期日 四月二十一日(水)
- 時間 午後一時～三時
- 会場 川西町福祉センター  
「はあとふる川西」
- 内容 救急時の対応  
(骨折の疑いのある時、のどに異物をつまらせた時)
- 講師 十日町地域消防署救急救命士
- 参加費 二〇〇円
- 申し込み・問い合わせ  
川西町在宅介護支援センター  
(あかね園内)  
☎68-4565

# その他

## 地域雇用受皿事業特別 奨励金のご案内

独立の起業、新事業を行う子会社の設立を支援する制度です。地域貢献事業を主たる事業とし

子育てネットワーク「ひろば」担当 若山早苗  
☎0257-68-3171

て行う法人を設立し、一年以内に三〇歳以上六五歳未満の非自発的離職者を三人以上雇用した場合に、新規創業支援金と雇入れ奨励金が受けられます。

※「地域貢献事業」とは

- ①個人・家庭向けサービス
- ②社会人向け教育サービス
- ③企業・団体向け教育サービス
- ④住宅関連サービス
- ⑤子育てサービス
- ⑥高齢者ケアサービス
- ⑦医療サービス
- ⑧リーガルサービス
- ⑨環境サービス
- ⑩地方公共団体からのアウトソーシングの事業です。

※「非自発的離職者」とは前職を自己の都合や自己の責めに帰すべき理由によらないで離職した方です。

一、支援を希望される場合は、法人設立登記前に「地域貢献事業計画認定申請書」の提出が必要です。

二、新規創業支援金は、法人設立の日から六か月以内に支払った創業経費の三分の一相当額で、五〇〇万円を限度とします。

三、雇入れ奨励金は、常用労働者一人当たり三〇万円、短時間労働者一人当たり一五万円です。

■問い合わせ  
(財)産業雇用安定センター  
☎68-4960

新潟事務所雇用再生本部  
☎025-290-6810

## 軽自動車税が 減免になります

次の方は、平成十六年度の軽自動車税が減免になりますので、忘れずに手続きをしてください。

### ■対象車両

- 身体障害者又は戦傷病者が所有し、自ら使用する自動車
- 身体障害者、戦傷病者、精神障害者(一級)の方が所有する自動車で、通院、通学、通所するために生計を一にしている方(常時介護している方)が運転する自動車

### ■申請期間

五月二十四日(月)

### ■申請に必要なもの

- ①身体障害者手帳、戦傷病者手帳及び精神障害者保健福祉手帳のいずれか該当するもの
- ②障害者等と生計を一にしている方が運転する場合は、運転免許証及び同一生計証明書
- ③常時介護している方が運転する場合は、運転免許証及び常時介護証明書
- ④印鑑

### ■問い合わせ

税務課 住民税係  
☎68-4960

## 金融庁・預金保険機構 からのお知らせ

当座預金、普通預金、別段預金は平成十七年三月まで引き続き全額保護されます

○定期預金等については、これまで同様、元本一、〇〇〇万円までとその利息等が保護されます。それを超える部分は破たん金融機関の財産の状況に応じて支払われず。(一部カットされることがあります)

○平成十七年四月以降は、当座預金等の利息のつかない預金が全額保護されることになりました。

○預金保険制度、農漁協系統貯金保険制度ともに同様の取扱いがなされます。

※詳しくは、左記のいずれかに直接お問い合わせください。

### ■問い合わせ

- 預金保険機構  
☎03-3212-6029
- 農水産業協同組合預金保険機構  
☎03-3285-1272
- 関東財務局  
☎048-600-1146

## 「十日町地域メデイカル コントロール協議会」 設立のお知らせ

十日町地域消防本部では、九人の救急救命士を配置し、救急患者の医療機関への搬送を実施しています。心臓停止患者の救命率の向上を図るためには、救急現場及び搬送途上での救命処置が非常に重要です。

このため、地域の医師会、医療機関、行政機関等で構成される標記組織を設立し、医師から救急救命士への指示体制、救急処置の事後検証体制、救急隊員の教育・実習を行うことにより、病院前救護体制のレベルアップを図りました。

また、救急隊到着前にその場に居合わせた人による応急手当が救命率の向上に大きく寄与することから、「応急手当普及啓発」にも取り組みることとしています。

この組織の詳しい内容や応急手当講習については左記にお問い合わせください。

### ■問い合わせ

十日町地域メデイカルコントロール協議会事務局（十日町地域消防本部警防課救急係）

☎ 0257-5710119

## 割引があつて便利な 『前納制度』をご利用 ください

国民年金には、一定期間の保険料を前もって納めることができる『前納制度』があります。

保険料を前納すると年二、八三〇円の割引が受けられ、毎月の保険料を納める手間が省け、納め忘れもなくなります。収入が一定期間に片寄る方などは、ぜひ前納制度をご利用ください。前納制度は一年間、六か月間を単位として行うほか、次の期間の保険料についてもできます。

● 保険料を前納しようとする日の属する月から年度末までの期間

● 年度末までの間に六〇歳の誕生日を迎える時は、保険料を前納しようとする日の属する月から、六〇歳に達する月の前月までの期間

### ■国民年金保険料前納額

（一年分）一五六、七七〇円  
（半年分）七九、一五〇円

※年度の途中から前納する場合はの保険料額や、前納の方法など、詳細は社会保険事務局にご相談ください。

### ■問い合わせ

新潟社会保険事務局六日町事

務所  
☎ 0257-7012211

## 住宅金融公庫からの お知らせ

住宅金融公庫による証券化を活用した長期固定金利型の新型住宅ローンが民間金融機関から誕生しました。

◆ 最長三十五年の長期固定金利型

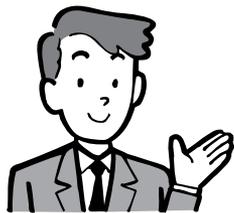
◆ 融資額は最大五、〇〇〇万円、建設・土地費の八割まで

◆ 住宅の「質」を確保  
◆ 保証料・繰上返済手数料が不要

※詳しくは、住宅金融公庫のホームページをご覧ください。  
<http://www.jyukou.go.jp>

### ■問い合わせ

住宅金融公庫北関東支店 広報・住情報相談担当  
☎ 027-23216656



## 低利な融資制度、有利な補助金制度

# 応援します 雪に強い家づくり

町では、屋根の雪おろし作業の解消と安全で快適な克雪住宅を普及したいと、一定要件に該当した住宅に対して低利な融資制度、有利な補助金制度を設けています。予算に限りがあるため、お早めにご相談ください。

【対象者】平成16年度中に住宅の新築や増改築、屋根の改良を予定している方

～～制度の内容～～

◎克雪住宅補助金最高限度額

- ◆融雪式 44万円
- ◆耐雪式 44万円

◎克雪住宅融資制度

- ◆融雪式・耐雪式 貸付限度額 600万円 年1.5%
- ◆落雪式 〃 400万円 年2.0%

【申込期限】 10月31日まで

【申込方法】 建設課に備え付けの申込書に必要事項を記入し、お申し込みください。

【申し込み・問い合わせ】 建設課都市計画係 ☎ 68-4953

# 住民福祉課からのお知らせ

福祉係で実施している事業・サービスを紹介します。  
該当される方は、お早めに福祉係窓口までおいでください。

## 在宅介護手当

在宅の方を介護している方へ  
ねぎらいの気持ちを込めて手当  
を支給します。

### ■対象者

要介護一〜五の認定を受けた  
方を在宅で介護している方

### ■支給額（月額）

- 要介護一 三、〇〇〇円
- 要介護二 四、〇〇〇円
- 要介護三 五、〇〇〇円
- 要介護四 六、〇〇〇円
- 要介護五 七、〇〇〇円

### ■申請に必要なもの

介護保険証、印鑑、金融機関  
の通帳（郵便局以外）

## 家庭介護用品支給事業

在宅で介護を行っている方  
が、介護用品を購入した場合、  
その金額の一部または全額を助  
成します。

### ■対象者

要介護一〜五の方又は身体障  
害者手帳・療育手帳をお持ち  
の方を在宅で介護している方

### ■助成対象用品

紙おむつ・尿取りパット

## ■助成上限額

- 町民税非課税世帯  
一か月 六、二〇〇円
- 町民税課税世帯  
一か月 三、一〇〇円

### ■申請に必要なもの

介護保険証又は障害者手帳、  
療育手帳、印鑑

※入院等で紙おむつを使用され  
ている方は、医療費の控除を  
受けることができます。用紙  
は福祉係にありますので、詳  
しくは福祉係にお問い合わせ  
ください。

## 高齢者配食サービス事業

ひとり暮らしの高齢の方等に  
昼食を配達し、栄養バランスの  
とれた食事を提供します。

### ■対象者

おおむね六五歳以上のひとり  
暮らしの方・高齢者世帯・要  
介護一〜五に認定された方・  
身体障害のある方

### ■日程

毎週日・火・水・金・土曜日  
の週五日の中で希望の曜日を  
選択します。

### ■利用者負担

一食あたり三〇〇円

### ■申請に必要なもの

印鑑

## 福祉タクシー利用料助成事業

タクシー一回の利用につき、  
利用料金の五〇パーセントを助  
成します。

ただし、利用料金の五〇パー  
セントの相当額が二、〇〇〇円  
を超えるときは、二、〇〇〇円  
を限度とします。

### ■対象者

○身体障害者手帳をお持ちの方  
で一級・二級の方（下肢・体  
幹障害者は三級まで）

○療育手帳「A」をお持ちの方

### ■利用できるタクシー会社

昭和交通  
十日町タクシー

明石交通

十日町交通

### ■助成回数

年間十二回まで

### ■申請に必要なもの

身体障害者手帳又は療育手  
帳、金融機関の通帳（郵便局  
以外）、印鑑

※分からないことなど、お気軽  
に福祉係までご相談ください。

### ■問い合わせ

住民福祉課福祉係  
☎ 68-4956

## たばこ黄斑えそ病 防除にご協力を

たばこ栽培農家では毎年「た  
ばこ黄斑えそ病」が発生してい  
ます。この病気の被害により葉  
たばこ収益減少の一因ともなっ  
ています。

この病気の発生は、畑でのバ  
レイシヨがこの病原ウィルスを  
保有している（バレイシヨが  
このウィルスを保有していても  
バレイシヨそのものに被害はあ  
りません）、アブラムシの媒介  
により葉たばこに伝染され、葉  
たばこの病害発生に至ります。

こうした葉たばこ栽培農家の  
実情をご理解いただき、左記に  
ついてのご協力をお願いしま  
す。

○バレイシヨ畑とたばこ畑の近  
接回避

○検定済種バレイシヨの植付け

○畑内及び畑周辺での「掘り残  
レイモ」、「捨てイモ」の除去  
整理

○バレイシヨ畑のアブラムシ防  
除の徹底

### ■問い合わせ

J A 十日町園芸畜産課  
☎ 0257-57-1573

## 信濃川の増水にご注意ください

信濃川発電所では、検査等の作業に伴い次の日程でダ  
ムからの放流を行います。増水し大変危険ですので、ご  
注意くださいますようお願いいたします。

### ■作業箇所・作業日

- 宮中沈砂池 4月12日～28日（予備日）
- 浅河原調整池・5期水路トンネル 4月12日  
4月13日～16日（予備日）

## お知らせ

町は、川西町総合緑地公  
園の管理者として、平成十  
六年四月一日から平成十七  
年三月三十一日までの間、  
（株）まちづくり川西を指定し  
ました。

なお、公園内の各施設へ  
のお問い合わせ先等につい  
ては従前どおりです。



健康増進施設「ひだまりプール」完成予想図

# 『健康増進施設（健康プール）』の名称（愛称）が「ひだまりプール」に決定

現在建築中の健康増進施設（健康プール）の名称を募集していましたが、たくさんの方から応募をいただき、大変ありがとうございました。町内や十日町のほか、遠くは東京都や山口県の方からも応募があり、二十九人の方から六九点の応募がありました。

審査を行った結果、名称は「ひだまりプール」に決定しました。採用された理由は、人が

集まる様子がイメージされることや、覚えやすく親しみが持てるなど、この施設にふさわしい名称であることが認められました。

今後、健康増進施設「ひだまりプール」として利用していただきますので、是非一度、足を運んでいただき、体力づくりに、心身のリフレッシュにご利用いただきたいと思います。

## ● オープンは七月

「ひだまりプール」のオープンは七月初旬を予定していますが、利用方法については後日、広報でお知らせします。建築工事は現在、プールのタイル工事や床、天井の仕上げ工事、衛生器具の取付け工事などを進めています。四月から五月にかけては、外構工事の排水溝、擁壁、植栽、さらに雁木工事を施工する予定です。

## レインボー水中体操教室の参加者を募集しています

「ひだまりプール」で実施

する水中体操教室参加者を募集しています。詳しくは四月一日全戸配布のチラシをご覧ください。

## 健康増進施設の管理団体を募集します

健康増進施設「ひだまりプール」の管理を行う「指定管理者」を次のとおり募集します。指定管理者は、町に代わって施設の管理をするもので、住民サービスの向上と経費の節減を図ることがねらいです。

### ■ 応募資格

健康増進施設の管理を適切に行うことのできる法人、その他の団体

### ■ 指定管理者の業務

- ・健康増進施設の建物・設備の維持管理
- ・健康増進施設で行う事業の運営
- ・施設の利用の許可に関する業務 ほか

### ■ 管理の期間

協定書締結の日から平成十七年三月三十一日

### ■ 応募期限

平成十七年四月十九日（月）

### ■ 申請書提出先・問い合わせ先

けんこう支援課健康推進係  
☎ 68-4958

## スラムアップ 役田場 35

車はお古でがんばります



芽吹きの季節です。役場にも職員の新しい芽が出ました。これからそれぞれの職場で皆さんのお世話になります。

二人をごく簡単に紹介しますので、あとは、職場で地域でそれぞれ本人と触れ合ってみてください。

（①氏名、②所属、③職員としての抱負、④休日は何？）

写真右から

①柳 昌光

②総務課財政係

③できるだけ早く仕事になれるようがんばります。

④今まで家の手伝いをしな

かったので、とりあえず田植えを手伝います。

— 大学で学んだ健康スポーツの知識・経験も十分に生かしてもらいましょう。

①越井梓美

②建設課都市計画係

③住民の皆さんの声を聞けるようになりたいです。

④今までペーパードライバーだったので、魚沼を中心にドライブします。

— 川西町には、専攻した地質学のフィールドもたくさんありますよ。

二人とも、車はお母さんのお古とか。きちんとした自己管理もできています。

この春、フレッシュなこの顔に注目です。



協会加盟団体の紹介

【川西町ソフトボール協会】

ソフトボール協会は「町民皆スポーツ、体力づくり宣言」に基づき昭和五十四年、グロープを除く用具一式を町でそろえてママさんチームが結成され、川西町全域に七チームが誕生しました。

その後、雪まつりイベントで雪上ソフトボール大会が行なわれ、各町内に男子チームが結成され昭和六十一年に体育協会に加盟し、現在一〇チーム（橘地区五チーム、上野地区一チーム、千手地区四チーム（女子一チーム））選手登録一六三人でソフトボールを楽しんでいます。

【年間事業】

- 一、町長杯ソフトボール大会（五月下旬）
  - 二、十日町新聞杯ソフトボールナイターリーグ（六月～八月下旬）
  - 三、ソフトボール協会長杯（十月下旬）
- ソフトボール協会は、野球は

ちよつと大変になったけど、まだ運動をしたい方が仲間です。

選手登録は、四十歳以上（野球チームに登録している方は四十五歳）女子については年齢制限はありません。（学生を除く）

野球経験のない方も、六十歳を過ぎて七十歳になってもそれなりに楽しめるスポーツで、皆さん大いに活躍しています。

四十歳以上は地域や家庭で忙しい方達ばかりですが、ナイターで珍プレー・好プレーで汗をかいた後、各集落に帰っての祝勝会や反省会で各チームの結束を計るとともに、集落の活性化やコミュニケーション創りに大いに力をそそいでいるとのこと。

農繁期や地域事業を考慮しながら、ナイターは八時～九時半。一チーム一週間に一試合の対戦組合せをメドに、二か月半に及ぶリーグ戦でソフトボール野球を楽しんでいます。

一人でも地域でも一緒にソフトを楽しみませんか？

●お問合せ先 川西町教育委員会内 川西町体育協会事務局

(068-2167)

「うつ病」の正しい理解を！

近年行われた調査で、国民の十五人に一人がこれまでにうつ病を経験していることが明らかになりました。一方、その中で医療を受けていたのはたった四分の一だったという結果もあります。うつ病は、

気の持ちようで起こるものではなく、放つていて治るものでもありません。早期に発見し治療することが、早期の回復につながります。

- ・ 眠れない、途中で目が覚める
- ・ やる気が起きない
- ・ 食欲がなくなり、感じない
- ・ 自分は駄目な人間だと思つ

〈周囲が気づく変化〉

- ・ 体調の不調を訴える
  - ・ 仕事の能率が低下
  - ・ 家や部屋にこもりがちになる
- このような症状が二週間以上続く場合に「うつ病」と判断します。

うつ病の治療の中心は服薬と休養です。うつ病には、脳の中のセロトニンやノルアドレナリン等の神経伝達物質が関係しています。内服でそれらの量を正常に保つことが必要です。また、休養も大切な治療の一つです。ゆっくりと休めるよう周囲の人は温かく見守りましょう。

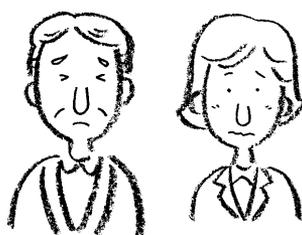
また、うつ病の人への接し方として、次の点に注意してください。

- ・ 励ましは禁物！  
（うつ病の人はぎりぎりまで頑張っているのです、励ましはかえって本人を追い詰めることとなります）

〈自分が気づく変化〉

- ・ 憂うつな気分、気が沈む
- ・ 物事に興味が無く楽しくない

- ・ 安易に気晴らしや外出を勧めない
- ・ 重大な決定は先延ばしにする
- ・ 自殺を口にする時は要注意（早急に受診が必要）



近年、全国的にも自殺が増え、その数は交通事故死の三倍以上にもなります。自殺で亡くなられた人の七～八割が生前にうつ状態だったと言われており、うつ病対策は自殺予防にもつながる重要な課題になっていきます。町としても、高齢者を対象に健康調査を実施し、うつ状態の早期発見とその後の支援活動、講演会等でうつ病についての知識の普及に努めています。

住民の皆さんからは、うつ病について理解をいただくとともに、ご自身の健康管理をお願いしたいと思います。

# 善意

(敬称略)

福祉に  
小林 タミイ (中屋敷) 五万円  
白井 晃 (寺尾) 五万円  
西野 美枝 (東京都) 一万円

## ◆訂正します◆

先月号 (No.547) 一五ページ表紙の  
写真説明の氏名に誤記がありました。次  
のとおりお詫びして訂正します。

誤 柄沢健太 ↓ 正 片桐健太

丸山 正平 91 (本人) 下原  
中村 喜一 74 (本人) 野口  
太田 公子 73 (一雄) 田中町

## うぶ声—おすこやかに

星野 櫻羽 友健 南台  
小川 智晴 知明 岩瀬  
高橋 悠奈 智恵子 高原田

## 高砂—ご円満に

渡貫 克典 新町新田  
小林 美紀子 十日町市

(3月1日〜31日届け出順)

## 戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

田村 徳治 83 (本人) 上野  
小海 ヨキ 96 (本人) あかね園  
小林 清市 77 (本人) 中屋敷  
白井 真一 77 (晃) 寺尾  
中條 保次 81 (本人) 木島  
保坂 佐七 78 (本人) 田中町  
小野塚 秋子 86 (謙治) 田中町



## かわにし俳壇

高崎正風選

それぞれに朝の光りのつららかな  
春あらし登園の児のなを小さく  
一村に残る一戸や冬ごもり  
卒業の孫に忍耐説きにけり 野口 高橋 波京  
早春の奏でる水のリズムかな

鉄塔の列を正して雪残る

霜条 星名 星光

リゾートの点灯早し夕霞

上町 高橋 願似

一徹の人とや峽の春田打つ  
卒業を待ちて一家の離村せる

先生を中に小春の幼稚園  
木の枝に上着かけあり畑小春

元町 田畑 吉治

手作りのぼた餅旨き彼岸かな  
ふくらめる布団にありし温みかな

山野田 中條 石平

ふるさとの味の夕餉や露のとう  
手に取れば下萌えの土匂ひけり

練馬区 須藤 遊人

執拗にどこかに絡み春の風邪  
雪解水集めて信濃川らしく

小白倉 田中 優美

梅の花一輪増えて春を告ぐ  
あわあわと春の三日月愁なし

高原田 須藤 キミ

彼岸済み島に通ふ時の来し  
晴天にふとんを干して安らぎぬ

八王子市 松浦 サク

しゃぼん玉風と遊びて消えにけり  
菜の花や目線一望利根の土手

足立区 涌井ハル子

三寒に耐えつつ明日の四温待つ  
カセットの読経流れて春彼岸

新町新田 若山 向山

卒業す孫都路へ発ちにけり  
春彼岸父母の好みし芋煮そえ

霜条 蔵品ハツエ

まれに日の入りし仏間や彼岸入  
郵便夫誤配の詫びや山笑う

野口 野沢 寅生

冬木の芽仰ぎ仰ぎてポストまで  
山菜の話の弾む春炬燵

田中町 石沢 澄代

鉢植えのすみれの蕾つけ始む  
紙雛そつと燃しある庭の隅

野口 村越 由喜

日向ぼこ隣の赤子よく笑う  
うら、かや老人会の集ひあり

小白倉 江口みゆき

つるばらの芽吹に雨のしづくかな  
読経に心洗わる彼岸寺

岩瀬 登坂伊智子

何ものに勝る喜び春めける  
母老いて白菜漬の石もてず

中屋敷 金子 鉄平

今年また法の雪降る彼岸かな  
なつかしきこと語り合う彼岸かな

野口 村越 こう

### 休日救急医

4月18日 石川 医院 (津南町上郷宮野原) ☎66-2061  
" 中条 病院 (十日町市北原) ☎57-3018  
25日 せき整形外科 (十日町市四日町第2) ☎50-1155  
" 上村 病院 (中里村田沢) ☎63-2111  
29日 富田 医院 (川西町発電所通西) ☎61-0200  
5月2日 池田 医院 (十日町市本町西1) ☎52-2581  
3日 中条 病院 (十日町市北原) ☎57-3018  
4日 山口 医院 (十日町市下条中央) ☎55-2003  
5日 田中 外科 医院 (十日町市田中町本通) ☎52-2403  
9日 川西町 国保診療所 (川西町高原田) ☎68-2034

### ■表紙の写真

雪まつりのひとこまで。左上から時計回りにかわにし Gottakull、Piece to peace、仙田、千手、上野、橘の各ほんやら村です。個性が輝いています。

### ? 町勢要覧クイズです?

「2003 町勢要覧」に記載されている内容を中心にクイズを出しています。

< 戊辰戦争で野口が新政府軍の本陣となったときの戦いは? >

ヒント: 全戸配布した町勢要覧をよく読んでください。

おわかりの方は、はがきに「解答」「住所」「氏名」「電話番号」を明記のうえ、〒948-0192 川西町役場総務課文書広報係までご応募ください。

正解の方に(多数の場合抽選で)ステキなプレゼントをいたします。

●締め切り… 4月23日 (金)

### < 3月号の答え >

#### 「柿」の市

今回は、正解者の中から抽選で次の方々に記念品をプレゼントします。(敬称略)

和田 民 (木島)、清水ノリ子 (学校町)、中島忠一 (下平新田)、星野礼子 (野口)



「そらとぶ かぶとむし」  
3年生 登坂正之



「さかなが いっぱい」  
2年生 小川敦也



▶「卒業生からのおくり物」  
5年生 南雲淳美



「いつも遊ぶ体育館」  
4年生 長谷川みなみ

(5月号は川西中学校です)



「よっ、仙田子供樽太鼓」  
6年生 樋口真央



「グラウンドで遊んだよ!」  
6年生 斉木俊樹

● 石仏めぐり ●

石仏には静けさが似合う。林の中に石仏がたたずんでいる姿には一種の「気」のようなものがあり、物悲しいような、なつかしいような空気が漂う。そして、村はずれなどでこうした野の仏に出会うと、何となく昔にさかのぼったような気分になる。



私たちの祖先が、決して豊かとはいえない生活の中で何とか費用を工面して立てた仏たちは、庶民的で親しみのある顔立ちをしている。まるで彼らの心がそのまま刻み込まれているようだ。

今を生きる私たちは、子孫にどんな心を残せるだろうか。

㊦

